

しょかん

令和3年1月1日発行

vol.

57

しゃかいふくしほうじん うりゅうえん
社会福祉法人 雨竜園

しょう しゃしえんしせつ うりゅうちょうしょかん さと
障がい者支援施設 雨竜町暑寒の里

せいかつかいこじきょうしょ まいむ
生活介護事業所 まい夢

じゅうろうけいそくしえんじきょうしょ みり
就労継続支援事業所 実の里

きょうどうせいいかつえんじょ じきょうしょ
共同生活援助事業所 ジョイン

そうだんしえんじきょうしょ
相談支援事業所 さかえ

〒078-2600 北海道雨竜郡雨竜町字尾白利加94番地の193 TEL0125-77-2231 TEL/FAX0125-77-2232

e-mail : syokannosato@cello.ocn.ne.jp

HP <http://shokannosato.jp>



facebookもご覧ください！

新年のご挨拶

社会福祉法人 雨竜園

理事長 猪股 旬雄

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、当法人の運営にも大変な影響がありました。お力添えを頂いた関係各位、理事、評議員の方々、保護者会の皆様、地域の方々には心より感謝を申し上げる次第でございます。

そしてまた、それぞれの担当で精進を頂いた職員の皆さんのがんばりに感謝を申し上げます。おかげさまで皆さんのおかげで、これまで皆さんの奮闘により大きく過なく越年できましたことに大いに喜びを感じながら新しい年を迎えております。

そんなコロナ禍を許した新聞の囲み記事ではありますが、「全ての人が障害がい者になつた」という記述がありました。

染拡大にともなつて、外出自粛が求められたり、テレワークの普及によって通勤の必要がなくなつたりといった事が増えました。今まで利便性を追求してきた世の中が立ち止まって不便さの範囲を広げてみると、いいチャンスではないかと。

急ぐ人のためにエスカレーターの半分を空けておくことがマナーだつた時代から、ソーシャルディスタンスを確保するためには前後の距離をとつてゆっくりと利用する事へ。そうすると障がいの実験と思つてもいいのではないか。そんな記事でした。

本年四月には滝川市において、日中支援型グループホーム「暑寒の里」を開設いたしました。従来型のグループホームの役割に加え、地域と一緒に暮らす形になつた取り組みに挑戦したいと思っています。子ども食堂は必要でしようか。ハロー五〇問題と言わざる成年の引きこもりに対策はとれるのでしょうか。コロナ禍によって立ち止まつて、余裕を感じられるようになります。今よりずっと幸せを感じられる社会になる気がします。

たら、今年もよろしくお願い申し上げます。

のうりょうまつり 納涼祭

レクリエーションやbingoゲームを行い、最後はみんなで盆踊りを行いました。



7月29日

署寒の里コース

しょかん さて

やきにくかいしょく 焼肉会食



がつ 8月12日 にち

夏季帰省ができなかつた利用者と職員で焼肉パーティーを行いました。食後のデザートにスイカも出て、暑い夏にピッタリな昼食となりました。



パークゴルフ

施設行事としてパークゴルフを行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクをしながら行うという異例の行事となりましたが、久し振りに外で身体を動かすことができ、とても楽しかったようです。

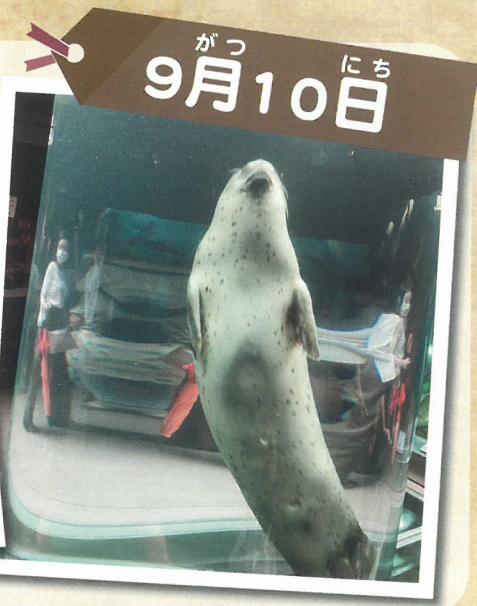


がつ 8月21日 にち



みりいあんりょこう 実の里慰安旅行

就労継続支援B型事業所「実の里」の利用者の皆さんで日帰り旅行に行ってきました!!コロナ禍で密を避けながらの外出となりましたが、皆さん楽しんでいました。



こうつうあんぜんはたふ 交通安全旗振り

秋の交通安全週間です!今回も地域貢献活動として参加させていただきました。交通事故を防止する為、皆さん頑張ってくれましたよー!!



あき しょかん秋まつり

射的・せんほんび
千本引き・りょうしゃ
モグラたたき(笑)その他色々なア
トラクションを利用者の皆さん笑顔で楽しみました。



10月1日

グループ外出

買い物と食事を行い、その後ドライブを行いました。グループによっては富良野方面へ出かけるグループもありました。



7月29日、10月29日

地域貢献事業 雨竜小中学校給食へ お米贈呈

雨竜町役場にて社会福祉法人雨竜園の地域貢献事業として、ななつぼし500kgを贈呈致しました。



8/5

雨竜町より米寿お祝い 対馬さん米寿祝

雨竜町より対馬喜代昭さんへ米寿のお祝いとしで、雨竜町長よりお祝い品の贈呈がありました。



9/17

ご厚情
(令和元年12月～
令和2年11月)

寄付物品
岩見沢市 山地のり子 様
岩見沢市 砂原 幸悦 様
雨竜町教育委員会
株式会社 カウンターアクション
寄付金 藤中 昌弘 様

退所利用者 大宗 満さん

退職職員 澤田 恵奈さん 本間 亮子さん 佐藤 弘基さん

7月15日
7月31日
9月30日

新入職員紹介

3名を新たに迎え、利用者支援に励みます。
宜しくお願いします。



広報あすなろ

暑寒の里保護者会 会長 藤野道夫

会員の皆様におかれましてはご健康でご活躍の事と
と思います。

さて、いよいよ冬本番、コロナ第三波到来と大変な毎日です。空知も感染者が日々とに急増。インフルエンザとの同時感染の怖さ、少しでも早い収束を願うばかりですが、中々先が見えません。感染防止の基本であるマスク、三密、手指消毒、これに加えて換気の徹底をし少しでも拡大しないよう、一人ひとりの努力が今、求められています。

暑寒の里におかれましてもこれまで感染拡大の予防策に最善を尽くされております事に改めて、感謝いたします。

フルタブあとひといちご ご協力お願いします

フルタブを集めて七年、コロナのため活動が一時中止。ようやく手の届くところまで、あとひととき迄来ました。

スチール製よりアルミ製で軽量な自走式車いすの取得までどうしても二十五キロが必要です。ともあれ、利用者のため、もうひと頑張り、保護者皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

今、私ができるのは元気でいること、娘の様子を職員さんに聞いていくことじゃないか、と。コロナ感染症の先是見えず、何が正しいのか、どうしたらいいのか、正解はわかりません。でも、ワクチンだって、これまで何度もワクチン接種の事故もあり、手放しで打ちたいとは思いません。今は手洗いをし、密を避け、マスクをし、抵抗力を落とさないよう運動と睡眠をしつかりとることで、コロナ感染が防げていると思います。

治療している病院などでも、医療従事者の皆さん

2020年 ほっと31号
泣いちゃいけない

一〇月一日、娘の施設に面会に行きました。寒くなるので防寒のジヤンパーをもつていこうと思つて訪ねました。現在、娘の施設はガラス越しの面会のみで、来年三月まで外出外泊ができません。

ことが大事ではないでしょうか。あるお母さんから「このまま、子供がいない生活に慣れてしまうのが怖い」という話を聞きました。障がいをもつた我が家を一生懸命育ててきました。どうしたらよいか悩み、悲しみ、悔しい思いをして過ごしてきた時間が、私達を親にしてくれました。

『子どもや兄弟の笑顔に早く会えますように』皆さんのお子さんや兄弟の方々への思いを、家族会に寄せていただけますなら幸いです。

コロナ、10の知識を厚労省発表
紙面関係上、1項目掲載します。

ワクチンの実用化

現在、早期実用化を目指し、国内外で研究が行われています臨床試験を開始しているものも幾つかあります。開発中のワクチンが実際に発症や重症化を予防できるかは今のところ分かつてしまふかのうで、副反応については臨床試験を確認しているところです。

ホームページ内容は今後随時更新されるとのことです。

北海道知的障がい児・者家族会連合会 会長 安田由美子